

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和5年5月31日

計画の名称	1 唐津市における公共用水域の水質保全の実現（防災・安全）		
計画の期間	平成30年度～令和4年度（5年間）	交付対象	唐津市
計画の目標	下水道整備及び更新による防災・安全対策を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現する。		
計画の成果目標（定量的指標）	①下水道による都市浸水対策達成率を 54.5%（H29末）から 54.8%（R4末）に増加させる。 ②雨水幹線管渠長寿命化計画を策定した幹線における長寿命化対策実施率を0%（H29末）から100%（R2末）に増加させる。		

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考					
	当初現況値 (H30当初)	中間目標値 (R2末)	最終目標値 (R4末)						
①都市浸水対策を実施すべき区域の面積のうち、概ね10年に1回程度発生する規模の降雨に対して安全であるよう下水道整備が完了している区域の面積の割合。 下水道による都市浸水対策達成率（%） 概ね10年に1回程度発生する規模の降雨に対して安全である区域の面積(ha) / 都市浸水対策を実施すべき区域の面積(ha)	54.5%	54.6%	54.8%						
②雨水幹線管渠長寿命化計画を策定した幹線における長寿命化対策実施率 長寿命化対策実施済みの幹線数 / 長寿命化対策済みの幹線数	0.0%	100.0%	100.0%						
全体事業費	合計 (A+B+C)	766百万円	A	766百万円	B	0百万円	C	0百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)

事後評価（中間評価）

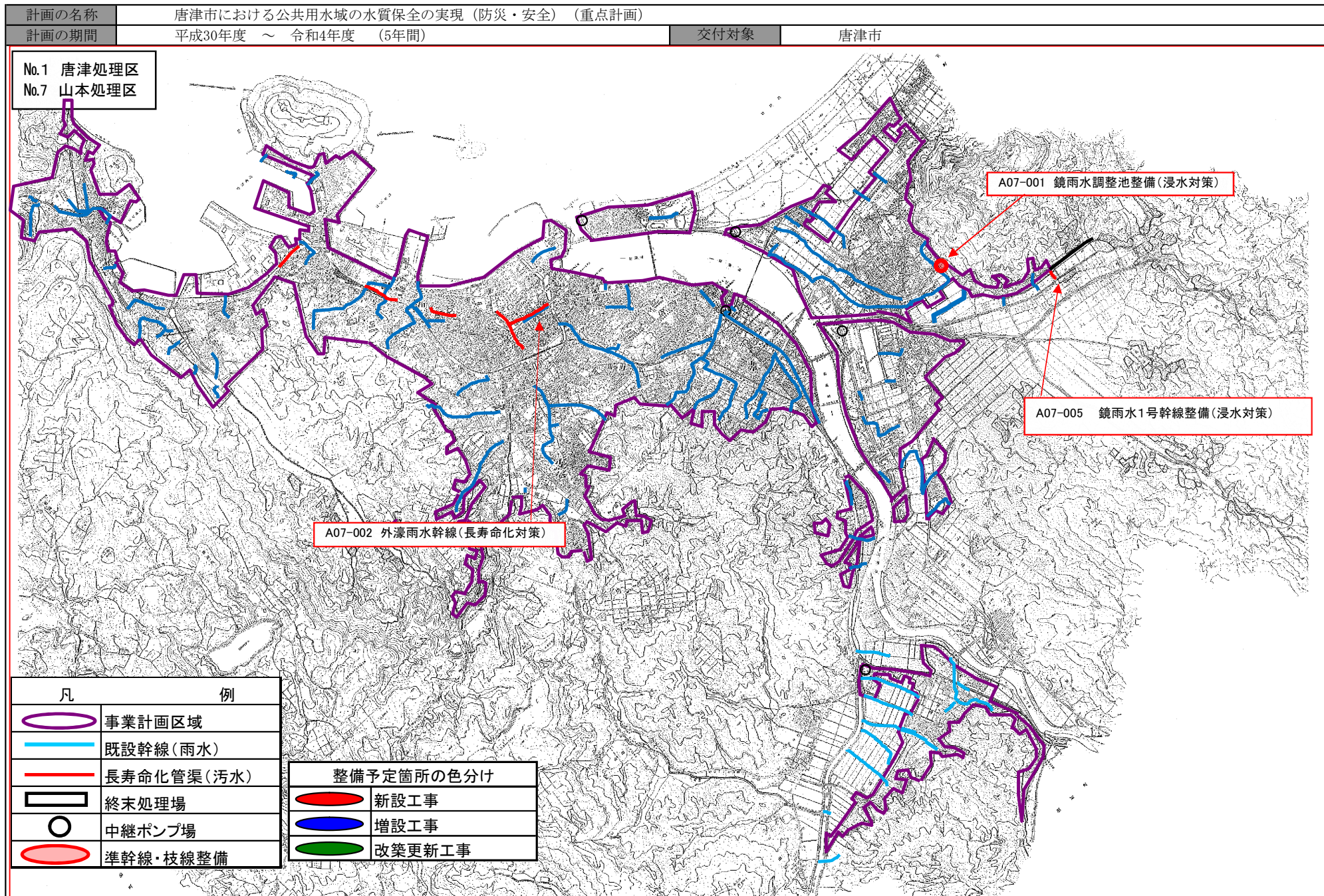
○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価（中間評価）の実施時期
唐津市	令和5年5月 公表の方法 唐津市ホームページ

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																	
A 基幹事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	事業及び 施設種別	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用便益比
											H30	H31	R2	R3	R4		
A07-001	下水道	一般	唐津市	直接	唐津市	雨水	新設	鏡雨水調整池整備（浸水対策）	工事 調整池2,600m3	唐津市						90	—
A07-002	下水道	一般	唐津市	直接	唐津市	雨水	新設	外濠雨水幹線（長寿命化対策）	設計・工事 L=500m	唐津市						616	—
A07-005	下水道	一般	唐津市	直接	唐津市	雨水	新設	鏡雨水1号幹線整備	設計・工事L=100m	唐津市						22	—
No.4 相知処理区																	
A07-006	下水道	一般	唐津市	直接	唐津市	雨水	新設	中山3号雨水幹線整備	設計・工事L=80m	唐津市						38	—
No.7 山本処理区																	
											合計		766				
C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用便益比	
										H30	H31	R2	R3	R4			
											合計						
番号	一体的に実施することにより期待される効果																

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
I 定量的指標に関連する		<ul style="list-style-type: none"> <li>・下水道による都市浸水対策達成率を54.5%（H30当初）から54.8%（R4末）に増加させたことで、家屋等浸水被害の低減に繋がった。</li> <li>・雨水幹線における長寿命化対策実施の達成率が 0%から100%になり、雨水幹線長寿命化計画において計画的な改築更新事業が実施できた。</li> </ul>			
II 定量的指標の達成状況	指標①（下水道による都市浸水対策達成率）	最終目標値	54.8%	目標値と実績値に差が出た要因	目標達成
		最終実績値	54.8%		
	指標②（雨水幹線における長寿命化対策実施率）	最終目標値	100.0%	目標値と実績値に差が出た要因	目標達成
		最終実績値	100.0%		
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況（必要に応じて記述）					
3. 特記事項（今後の方針等）					
<p>平成30年度から令和4年度までの5年間で社会資本総合整備計画（防災・安全）による下水道事業を行い、定量的指標を全て達成することが出来た。今後も雨水による浸水対策を進めていくと共に、雨水幹線についてはストックマネジメント計画に基づき計画的な改築等に努め、安全・安心なまちづくりに取り組んでいきたい。</p>					

(参考図面)



(参考図面)

